

対象年度		令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		地域リハビリテーション活動支援事業						予算事業名		－					
予 算 科 目		会計	XX	款	項	目	事業	要求区分	介護保険法						
				XX	XX	XX	XX	経常経費	根拠法令						
総合計画体系									事業の区分		一般事業				
									担当課係等		介護福祉課				
											長寿支援係				
事業期間		新規 (令和 4年度～ 年度)													
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
住民運営の通いの場等でリハビリテーション専門職を活かし、要介護状態等になっても、生きがい・役割をもって生活できるよう、地域における自立支援に資する取組を推進する。								第8期高齢者プラン21では、リハビリテーション専門職等の関与を促進する仕組みづくりについて検討することになっている。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
市が実施する事業へリハビリテーション専門職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)を派遣し、専門的な立場から指導・助言をいただく。 ・通いの場への派遣 ・事業の対象者宅への訪問 ・地域ケア会議への参加								・総合事業の事業対象者 ・要支援1、2の方 ・65歳以上の高齢者 【事業をとりまく環境の変化】 平成29年度から開始した介護予防・日常生活支援総合事業のなかで、国は今後リハビリテーション専門職を活用するよう述べている。介護予防の場に専門的な知識をもった方が関与することで、介護予防の強化につながることが期待される。							
【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】							
・通いの場への派遣 ・事業の対象者宅への訪問 ・地域ケア会議への参加				・通いの場への派遣 ・事業の対象者宅への訪問 ・地域ケア会議への参加				・通いの場への派遣 ・事業の対象者宅への訪問 ・地域ケア会議への参加							

■事業費

		R02年度		R03年度				
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0	
	県		支	出	金	0	0	
	地		方		債	0	0	
	そ		の		他	0	0	
	一		般	財	源	0	0	
歳入計(千円)		0		0				
歳 出 内 訳	節(番号+名称)		金額(千円)		金額(千円)			
歳出計(千円)(A)		0		0				
伸び率(%)								
備 考	総合計画 ページ 予算書 ページ							
	備 大事業 地域リハビリテーション活動支援事業							

新規事業事前評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	派遣回数	回	目標	0.00	0.00	60.00
	リハビリテーション専門職を派遣し指導を行う		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	利用人数	人	目標	0.00	0.00	160.00
	リハビリテーション専門職の指導を受けた人数		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	地域における介護予防を推進していくために必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	総合事業の実施主体は市のため。
	手段の妥当性	A 妥当である	妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	専門職の派遣・調整等を考えると効率がよい。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	サービスの枠組みで決められているため。
有効性	成果向上の余地		
進捗度	事業の進捗		
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
地域包括支援センター、リハビリテーション専門職等の関係者と事業内容・実施方法について検討しながら、仕組み作りを検討していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☒ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 地域における介護予防の取組を機能強化するため、関係者と調整を図りながら、事業を推進していく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	